

# 北海道胆振東部地震災害からの復旧・復興に向けた取組のロードマップ

区分	種類	取組(事業)	H30年度 (10月～)	R元年度				R2年度				R3年度				R4年度				R5年度				事業完了予定	進捗状況等(R5.9.30現在)	所管部署	
			①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④					
1 被災地域の復旧・復興に向けた取組																											
(1) 住まい・くらしの速やかな再建	ア 被災者の住宅再建																										
	ウ	①被災者生活再建支援法に基づく支援金の支給  (基礎支援金) ・「全壊」100万円、「大規模半壊」50万円など (加算支援金) ・「建設・購入」200万円、「補修」100万円など	支給申請書等必要書類の進達・支給決定通知の送付、被災者等に対する必要な助言等																		R6.10 (毎年度事業継続を判断)	○支給決定 2,044件 ○総支給額 19億6,250万円	総務部				
	イ 被災者の生活支援																										
	ウ	②生活福祉資金等の貸付け  ・特別緊急小口資金貸付事業費補助金[道] 被災者の生活に必要な家具什器等、当座の生活に要する経費を支援 [事業主体] 北海道社会福祉協議会 [貸付対象者] 国の「緊急小口資金」を利用してなお不足する者 [貸付限度額] 国 拡 充 : 10万円以内→20万円以内 道 上 乗 せ : 20万円以内→50万円以内 [貸付利息] 無利子 [償還期間] 据置期間経過後2年以内	償還等の債権管理  貸付に係る相談対応・貸付手続																		R6.3	○H30.10.25貸付開始、H31.3月末で受付完了 ○貸付実績 63件 16,030千円(確定)  【その他(特記事項)】 ○事業の実施主体である北海道社会福祉協議会と必要に応じ連携・情報共有	保健福祉部				
ウ 保健・医療・福祉、教育環境の回復																											
ア	①被災者のケア  ・精神科医師や看護師、心理士等からなる「北海道心のケアチーム」や児童精神科医等により編成された「子どもの心のケア班」を被災地に派遣し、被災者の相談対応を実施 ・精神保健福祉センターによる被災町職員支援、遺族支援の実施	被災町の取組に対する支援(道、関係機関)  心のケアチーム等の派遣(道、関係機関)																		R6.3 (毎年度事業継続を判断)	<継続> ○町職員支援 ・H30 支援実績・延べ247人 派遣実績延べ61人 ・R1 支援実績延べ520人、派遣実績延べ160人 ・R2 支援実績延べ258人、派遣実績延べ20人 ・R3 支援実績延べ6人、派遣実績延べ2人 ・R4 支援実績延べ5人、派遣実績延べ4人 ○遺族支援(ケア会議、関係機関調整) ○苫小牧保健所や道立精神保健福祉センターが被災3町と連携し、地域ニーズに応じて被災者への支援を継続実施 ○被災3町職員のメンタルヘルス支援のための健康教育を計画・実施 ・R1 安平町 1回91名 むかわ町 2回67名 厚真町 2回97名 ・R2 安平町 1回96名 むかわ町 2回58名 厚真町 1回71名 ・R4 厚真町 4回195名 ○会議等への出席及び助言 ・胆振東部3町メンタルヘルス対策推進検討会への出席・助言(R2・R3) ・胆振東部3町災害後の地域精神保健活動にかかるコンサルテーションへの出席・助言(R3) ・厚真町主催 災害後の地域精神保健活動(WEB会議)出席・助言(R4)  <終了> ○心のケアチーム・子どもの心のケア班の派遣 派遣実績延べ201人 ・心のケアチーム H30.11末まで 子どもの心のケア班 H31.3末まで ○自殺対策ゲートキーパー育成に係る研修会への職員派遣 ・R2 精神保健福祉センター職員2名派遣	保健福祉部					

# 北海道胆振東部地震災害からの復旧・復興に向けた取組のロードマップ

区分	種類	取組(事業)	H30年度 (10月~)	R元年度				R2年度				R3年度				R4年度				R5年度				事業完了 予定	進捗状況等(R5.9.30現在)	所管部等	
			①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④					
			健康管理																								
(1) 住まい・くらしの速やかな再建	ア	<b>②被災者の健康管理</b> ・市町村と連携し仮設住宅入居者及び住民全体の心身の健康管理																							R6.3 (毎年度事業継続を判断)	<継続> ○住民の健康・メンタルヘルス対策 ・町と支援機関と連携した被災住民への健康相談やカンファレンスへの参画 R4年度継続 安平町 3回、むかわ町 7回、厚真町 10回 R5年度継続 安平町 1回、むかわ町 2回、厚真町 2回 ○3町との連携 ・被災各町と保健所との連絡会議 随時 R5年度 安平町 3回、むかわ町 1回、厚真町 2回 ○各町ゲートキーパー研修会参画 R4年度継続 安平町 2回、むかわ町 2回 厚真町 1回 ○胆振東部3町メンタルヘルス対策推進検討会開催(精保センター、保健所、被災3町、他関係機関参加) R2年度より年1回開催  <終了> ・住まいサポートチームコアメンバー会議への参画(仮設住宅入居者支援連絡会から移行。個別課題解決等の支援・助言) 延べ20回 R2年度で終了 ・被災3町保健保健活動連絡会 令和元年3月~R2年度開催 延べ15回 ・被災3町を対象に自殺対策ゲートキーパー育成に係る研修会を実施(精神保健福祉センター職員派遣2人・参加者17人) R2年度1回 ・胆振東部3町災害後の地域精神保健活動にかかるコンサルテーション実施(精保センター、保健所、被災3町参加、講師は岩手医科大学医学部) R3年度1回 ・被災3町職員のメンタルヘルス支援のための健康教育を計画・実施(R元年度~R4年度 3町で延べ12回 542名受講) ・厚真町主催 被災後の地域精神保健活動(WEB会議) R3~R4年度年1回参加	胆振総合復興局
	ア	<b>③教員の加配</b> ・被災した小中高等学校において、IT等による学習支援、心のケア、教育相談等のため教員を加配措置 [配置先] 特に被害が大きい胆振3町の小・中・高等学校																						R6.3 (毎年度事業継続を判断)	○平成30年度配置実績 3人 ○令和元年度配置実績 15人 ○令和2年度配置実績 14人 ○令和3年度配置実績 12人 ○令和4年度配置実績 11人 ○令和5年度配置実績 8人	教育庁	
教員の加配措置																											



